

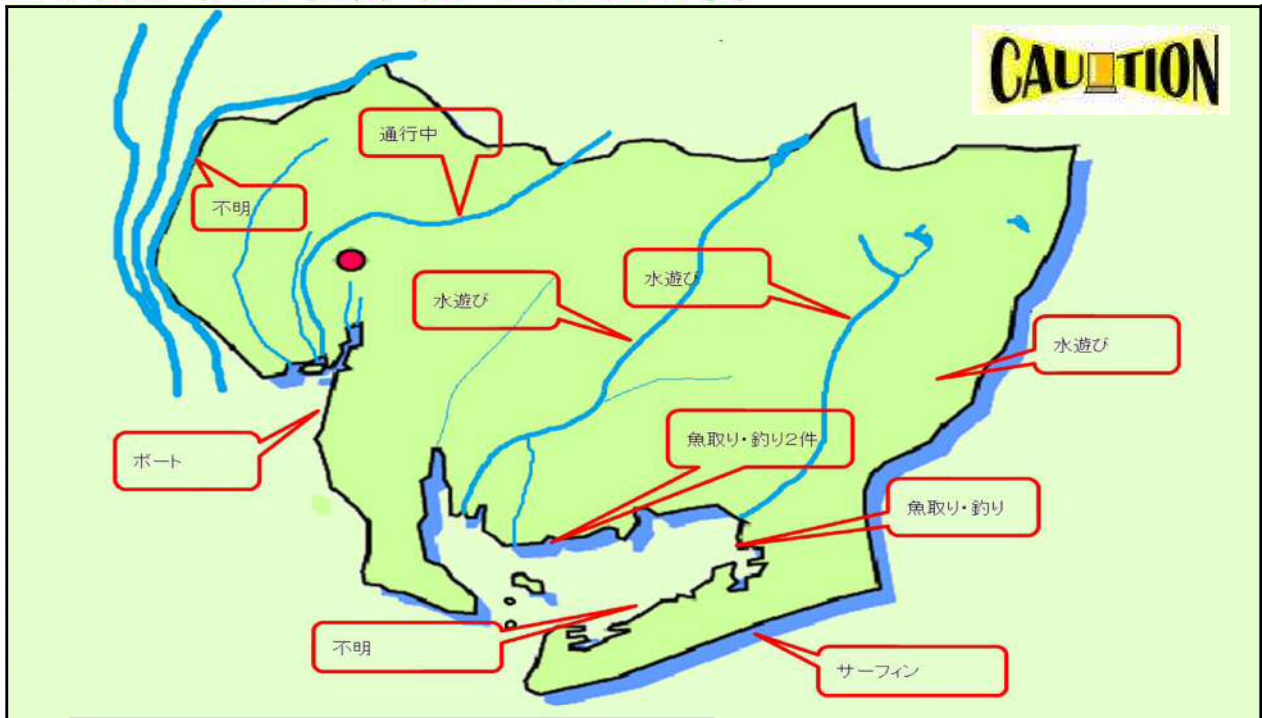
水の事故 危険はいつも すぐそこに



令和2年中、県下で起きた水の事故は48件、事故者数67人で、うち11人（事故者数の約16%）の方が亡くなっています。

特に7月・8月の夏休み期間中の水の事故は23件（年間発生件数の48%）事故者数34人で、うち5人の方が亡くなっていますので注意してください。

主な水難（死亡事故）発生地とその原因



水難事故を防ぐために!



遊泳・立入禁止区域に入らない

- 付近の環境、地形等をよく把握し、遊泳禁止区域・立入禁止区域ではないか確認しましょう。
- 怪我を負う水の事故は、18歳以上が当事者となるケースが多く発生しています。

飲酒しての遊泳はやめよう

- 特に夏季期間中は、飲酒が原因と思われる事故が多く発生しています。
- 複数人である場合は、周りの人が制止、注意して入水を防ぎましょう。



子どもだけで泳がせない

- 水の事故は、親が目を離れたその一瞬から発生します。子どもから絶対に目を離さないようにしましょう。
- 海や川へ子どもだけで行かないよう、日頃から親子で話しておきましょう。
- 泳げても浮き輪を持って出かけましょう。

事故が起きてしまったら

- 大声で、近くの人に助けを求めましょう。
- 岸から浮き輪、ロープ、ペットボトル等を使って救助するほか、水の中に入って救助する場合は、二重事故に注意しましょう。
- 警察（110番）、救急隊（119番）に早く知らせましょう。